



Lucky days ラッキーデイズ 2月号

「好奇心を持って周りを見渡せば普通の日など 1 日もない。毎日が幸運に満ちた特別な日になるのだ」という思いを込めて

【県立高校特色選抜出願】

県立高校の特色選抜出願受け付けが始まり、出願状況が新聞に載りました。多分、ほとんどの人が新聞を見たと思います。この倍率の状況を見て、あなたはどう感じましたか。やはり宇都宮では昨年同様、人気が集まって倍率が上がってきてます。予想以上の高倍率となった学校学科もありますね。しかし、これでも例年の特色選抜の倍率と比べれば、平均倍率は制度導入後、低い方の倍率なのです。

私立高校と違って県立高校は原則として定員より多くとりません。(特色選抜の場合は程度の表記があるため、若干名増減がある) したがって、倍率が高いと現実的には厳しい状況なのかもしれませんね。しかし、たとえ自分の希望している学科の倍率が高くても、自信をもって向かっていってください。今までの自分の努力、そしてこれからのことを考えて、何度も何度も懇談をして、悩んで、決断した結果決まったものです。数字などに惑わされているようでは困ります。倍率がすべてではありません。大切なことは、**合格に必要な力を持っているかどうか**なのです。合格するには、**その人数内に入れればいい**のですから、とにかく、ひたすら頑張るのみです。

県立高校の一般選抜の出願期間の翌日には、特色選抜と同様に確定倍率が発表となります。倍率を見て、不安になるのではなく、むしろ、「絶対にその定員内に入ってやる」などの強い意志を持ち、意気込みを新たにしようがやる気にもつながるでしょう。一般選抜受検まで残すところ約 4 週間、**ひたすら頑張ればいい**のです。全員の合格をお祈りしています。

【県立高校一般選抜の出願変更について】

県立高校の一般選抜出願期間は **2月24日(金)、2月27日(月)正午まで**となります。倍率等の関係などで受検校が変更になる場合は、下記の手順で出願変更が1回に限りできます。下記の方法で**保護者が自ら行わなくてはならない**ので、その場合申し出ていただければと思います。

期日	2月24日(金) 午前9時から午後3時30分	2月27日(月) 午前9時から正午まで
	※ 担任への申し出は 2月22日(水)までを目安に 変更手続きは 2月24日(金)の8時15分 に来校予定となります。	
	※ 「入学願書預かり書」は1校につき、1枚しか発行されませんので、同じ高校に複数人の出願変更者が出た場合は、かなりの待ち時間となるため、1日がかりの作業となることが予想されます。	

《出願取り下げの際の、保護者の手順》

- [1] 「出願変更願」を中学校で作成する。
- [2] 中学校から預かった「入学願書等預り証」を添えて、元の出願先の高等学校へ行く。
- [3] 元の出願先の高等学校から出願希望者の「入学願書」「調査書」等の返却を求める。
- [4] 「入学願書等預り証」とともに③の書類を中学校へ届ける。
- [5] 中学校で「入学願書」の「出願学校」「志望の課程及び学科(系、科)」欄を訂正する。
- [6] 中学校が新たに作成した「調査書」「入学願書等送付状」及び元出願先高等学校から交付された「入学願書等預り証」を預かる。
- [7] ⑥の書類を再出願先高等学校へ提出する。新たに交付される「入学願書等預り証」を預かる。
- [8] 「入学願書等預り証」を中学校へ届ける。



出願変更につきましては、上記のように、**保護者の方に手続きをしていただきます。**

手続きが煩雑な上、1日半(実質1日)で行うこととなります。出願を取り下げた状態で、再出願が間に合わないようなことがあった場合は、受検できなくなります。どうしても**出願変更をなさる場合は、令和5年2月22日(水)(できれば午前中のうちに)までに担任に申し出てください。**当日(特に2月27日(月))の変更は避けてください。出願変更手続きを行っている方が他にもいた場合、変更手続きはできなくなり、最悪、再出願ができない状況もあります。 **出願校を決定する際に、出願変更をしなくて済むように十分考えて決定してください。**



【受験直前のおすすめ勉強】

- ・ 今までの知識の**復習をメインに勉強する**ということです。勉強して覚えた知識を完全に自分のものにしてしまうことです。自分のものにしてしまうということは、完全に知識として定着しているということです。
- ・ 受験直前の勉強で新しいことを覚えるのであれば、**社会と理科**をオススメします。これらに共通していることは、暗記すれば解ける問題が多いということです。
- ・ 受験直前にオススメの問題集はやはり過去問です。**志望校の過去問、都道府県の過去問**を徹底的に解くことにより、問題傾向を把握することができ、より効果的な対策ができることになります。
- ・ 過去問をこなした後に**分野ごとの問題集を最後の問題集として活用**するとよいです。

【今、これからの私にできること】

卒業まで残すところわずかの日々になりました。この残された日々の中であなたは何かができるでしょうか。それはたくさんありますよね。このままでもきっと無事に卒業できるでしょう。しかし、それでは何か物足りませんね。偶然集まった仲間たち。でも、ここまで協力して、ともに涙を流し、また笑いあってきました。時が来て、「はい、さようなら」ではあまりにも悲しいではありませんか。

みんなで同じ時を共有した、この1年間を締めくくる最後のまとまりを何かつくりましょう。それが、「教え合い学習」であったり、「卒業式」であったり・・・形があってもなくても、とにかくみんなの心に残る何かを。

また、何かひとつ残していくのもいいと思います。たとえば、単純に一人一役の仕事しっかりとやっていますか。最近、勉強が忙しいのを理由にして、仕事をおろそかにしていませんか。学校に来る日はあとわずかです。責任と自覚をもって行動してみてください。

【感謝の気持ちを持って】

晃陽中学校の給食はおいしいですね。この給食とも、あとわずかです・・・さて、なにげなく食べているこの給食だって、3年間調理員さんが暑い日も寒い日も、毎日つくってくれたものです。3年間、栄養士さんが栄養のバランスを考えて、献立を考えてくれたわけです。

部活動で世話になった先生方。休日返上で、土曜日や日曜日まで練習を見てくれました。ささえになってくれた、友達や先輩がいたはず。修学旅行や学用品など、いろいろなところで出費してくれ、思い出をつくってくれた保護者。むろん、保護者はこの他にもいろいろなところでみなさんに援助してくれたはず。

教科でお世話になった先生。そしてクラスの友達。人間、ひとりでは決して生きていけません。お互いに支えあってここまで来たわけです。

卒業まであとわずかになった今、感謝の気持ちを持って卒業してもらいたい。自分の使った教室、机、そしてこの校舎・・・すべてのものに。気持ちよく卒業してほしい。清掃もしっかりとやっていきましょう。そして、お世話になった人に感謝しながら、授業に取り組んでいてもらいたいと思っています。



【お知らせ】

〇県立高校一般選抜について

県立高校の一般選抜の出願が2月20日(月)から始まります。進路相談等で十分ご検討いただいたこととは思いますが、まだ、進路に不安がある方は、遠慮なく学年スタッフにお声掛けください。

また、試験までの流れについて簡単に説明します。

- 2/15(水) **第7回調査書作成委員会**→この委員会において、各高校へ提出する「願書」等の書類に不備がないかを中学校職員で確認します。
- 2/20(月)、21(火)正午まで **出願**→各高校に「願書」等の書類を提出します。
- 2/24(金)、27(月)正午まで **出願変更**→各受検者1回のみ、一度出願した願書を取り下げ、他の県立高校に再出願ができる制度のことで。ただし、とても時間と手間がかかるので、できるだけこの制度は利用しないことをお勧めします。
- 3/8(水) **学力検査①**→いわゆる「受検」です。5教科のテストが行われます。
- 3/9(木) **学力検査②**→面接がある高校において、面接試験が行われます。



【2月・3月の行事予定】

2/1(水)	県立特色選抜出願 宇短附第2回入試	3/1(水)	受検票交付
2/2(木)	文星芸附・文星女子第2回入試	3/8(水)	県立一般選抜入試
2/3(金)	作新学院・宇短附第2回入試合格発表	3/10(金)	卒業式予行 同窓会入会式
2/4(土)	文星芸附・文星女子第2回入試合格発表	3/13(月)	卒業式
2/8(水)	県立特色選抜入試	3/14(火)	県立高校合格発表
2/14(火)	県立特色選抜合格内定	3/14(火)～	県立定時制・県立通信制出願
2/17(金)	卒業生を送る会	3/20(月)	県立定時制入試
2/20(月)	県立一般選抜出願	3/21(火)・28(火)	県立通信制入試
2/22(水)	感謝の会	3/24(金)	県立定時制合格発表
2/24(金)	県立出願変更	3/29(水)	県立通信制合格発表

